人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	●研究の名称 肘部管症候群に対する性差、重症度、予後に関与する因子の後ろ向き研究 ●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院整形外科において肘部管症候群と診断され，2000 年 1 月～2020 年 12 月までに通常診療により手根管症候群の手術治療を受けた患者さま ●研究の目的 肘部管症候群は手根管症候群に次いで高頻度にみられる絞扼性神経障害であり、年間 10 万人当たり 25 名ほど罹患します．肘部管症候群は神経の絞扼点が支配筋よりより近位に位置し、術後回復に時間を要する。そのため術後早期に回復することは無く、重症症例の中には回復しない症例も存在する．本研究の目的は予後に与える因子を検討することにより、今後肘部管症候群の治療成績を向上させることです． ●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 2028 年 3 月まで ●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	●研究に使用する試料・情報： 情報：肘関節単純 X 線正面像・側面像，誘発筋電図検査結果，手術記録，診療録記載の病歴，理学所見，年齢，性別，既往歴，合併症
利用する者の範囲	●機関名および責任者名 浜松医科大学　森町地域包括ケア講座　大村威夫

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 浜松医科大学　森町地域包括ケア講座　大村威夫
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 　また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：整形外科学講座 担当者：大村威夫 緊急連絡先： 電話：０５３-４３５-２２９９(整形外科)（平日8:30～17:00） ０５３-４３５-２６８６(整形外科･3 西病棟)（夜間･休日） メール： t.omura@hama-med.ac.jp